

全身の健康は お口の健康から!

歯周病と全身疾患の関係

① 心血管疾患(狭心症・ 心筋梗塞)、脳梗塞

歯周病の原因菌の刺激により血管内に血栓ができやすい状態となり、動脈硬化を引き起こし、心血管疾患、脳梗塞へと進展していく可能性があります。

② 糖尿病

歯周病は糖尿病の合併症のひとつとされていますが、近年歯周病になると糖尿病が悪化するという逆の関係も明らかとなっています。

歯周病の治療により糖尿病が改善することがあります。

このように、歯周病と糖尿病は互いに影響しています。



日本歯科医師会
PRキャラクター
よ坊さん

いい歯の日
11月8日は

③ 誤嚥性肺炎

食べ物などを飲み込む際に誤って気管や肺に入り、一緒に侵入した細菌が炎症を引き起こす病気が誤嚥性肺炎です。

特に、飲み込む力が低下している高齢者は、誤嚥することや免疫力が低下している場合も多いので、予防のために歯周病のコントロールが重要になります。

④ 低体重児早産

妊娠している方が歯周病になっている場合、飲酒や喫煙よりも低体重児および早産の危険性が上がるといわれています。

このように、歯周病はお口の中だけでなくさまざまな全身疾患の原因になり得るため、全身の健康を維持するためにも歯周病の予防や早期治療を心がけましょう。

県民公開講座
健口フォーラム2023
《オンライン》



期間中は何度でも動画を視聴
できます。(11月末まで)

